

講師紹介

基調講演／パネルディスカッション(パネリスト)

門間 敏幸 (もんま としゆき)

東京農業大学国際食料情報学部国際バイオビジネス学科 教授

1972年東京農業大学農学部卒業後、農林水産省農業研究センター上席研究官などを経て、1999年より現職。専門は農業経済学・農業経営学・農村計画学。農林水産省「農林水産技術会議 評価専門委員会」座長、経済産業省「農商工連携研究会」座長などを歴任。著書に『TN法－住民参加の地域づくり』(単著、2001年)など多数。現在、東京農業大学「東日本支援プロジェクト」のリーダーとして福島県相馬市を中心とする地域の震災復興に取り組んでいる。「地震・津波・放射能汚染・風評被害の克服」をテーマとし、大学を挙げて復興支援を実践している。

事例報告／パネルディスカッション(パネリスト)

長谷川 俊輔 (はせがわ しゅんすけ)

根室市長・全国市長会水産都市協議会会長

根室市出身。1963年に北海道根室高等学校卒業後、根室市役所に入庁。水産経済部長、企画振興部長、総務部長、収入役、助役などを歴任。2006年9月に根室市長に就任(現在2期目)。市や水産加工業者、漁協などで構成する「根室市アジア圏輸出促進協議会」を設立し、根室産水産物の輸出促進に取り組む。同協議会はサンマのベトナム輸出に成功し、地域雇用の確保に貢献している。

片岡 聡一 (かたおか そういち)

総社市長・全国市長会評議員

総社市出身。1984年青山学院大学法学部卒業後、橋本龍太郎事務所入所。内閣総理大臣公設第一秘書、行政改革・沖縄北方担当大臣大臣秘書官などを経て、2007年に総社市長に就任(現在2期目)。契約農家がつくった野菜を直接買い上げ、学校給食や地元スーパーでの販売を通じて地元市民が食する「地・食べ(ちたべ)」事業の推進や、再生した耕作放棄地と同等の農地を企業用地として活用できる制度の新設を国に提案するなど、農業の活性化に向けた施策に取り組んでいる。

パネルディスカッション

大泉 一貫 (おおいずみ かずぬき)／コーディネーター

宮城大学副学長

1972年東京大学大学院修了(農学博士)。専門は農業経営学。農業政策、地域政策等への提言活動を続けている。宮城県南三陸町「震災復興計画策定会議」委員長(11年～13年)、内閣官房「食と農林漁業の再生実現会議」委員(10～11年)等を歴任。著書に『日本の農業は成長産業に変えられる』(単著、2009年)など多数。現在、オランダの園芸とノルウェーの水産業に学び東北の農林水産業の復興を目指す「世界の知を復興へプロジェクト」に尽力。

五日市 知香 (いつかいち ちか)／パネリスト

株式会社パイロットフィッシュ 代表取締役・商品開発コーディネーター／岩手大学客員准教授

盛岡市出身。広告代理店、印刷会社等で商品企画、営業業務等を経て、2009年9月に「株式会社パイロットフィッシュ」を設立。新商品企画、パッケージデザイン、商品名、広報、商品改良までトータル的な商品プロデュース、コーディネートを行う。岩手県山田町の『山田の牡蠣くん』、二戸市『大西ファーム ドライトマトのオリーブオイル漬け』等、実績多数。零細事業者や過疎化で悩む地方を中心に取り組みを行う。岩手県農政審議会委員等も務める。

新妻 敬 (にいづま たかし)／パネリスト

いわき市 農林水産部農政水産課 主任主査兼農業企画係長

いわき市出身。平成7年いわき市役所入庁。平成24年4月より現職。いわき市の農林水産業および観光業における東日本大震災からの復興と、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故に伴う風評の払しょくを目指し「いわき見える化プロジェクト」を展開しており、昨年10月に開設された「いわき市 見せる課」の係長も兼務。農作物や海産物、観光を対象に、放射性物質の検査結果に加え、復興へ向けた取り組み、市民の様子などについて積極的にPRしている。